

環境経営レポート

(2024年2月～2025年1月)

2025年5月12日作成

株式会社 ニコニコ

1. 組織の概要

- (1) 事業者名：株式会社 ニコニコ
- (2) 代表者：代表取締役 二五田 孝彦
- (3) 設立：昭和48年3月23日
- (4) 資本金：1,000万円
- (5) 所在地：本社：〒732-0009 広島市東区戸坂千足二丁目6番19号
車庫：〒731-3165 広島市安佐南区伴中央七丁目18番8号
- (6) 事業内容：一般廃棄物、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬
- (7) 事業の規模

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
処理量	一般廃棄物	トン	5,589	5,637	5,687	5,398	5,117.53
	産業廃棄物	トン	1	0	1	0	0.06
	特別管理産業廃棄物	トン	0	0	0	0	0
	合計	トン	5,590	5,637	5,688	5,398	5,117.59
売上高	百万円	166	168	174	174	152	
従業員数	人	22	22	22	22	23	
床面積		本社：72 m ² 、車庫：80 m ²					

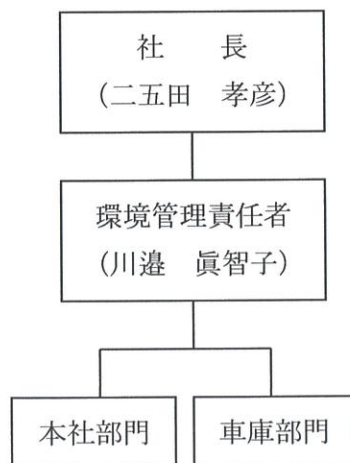
(注) 年度は、2月～翌年1月で運用しています。

(8) 連絡先：

環境管理責任者 川邊 眞智子

TEL:082-229-2384, FAX:082-229-6339

(9) 組織図



責任及び権限
◇社長：経営の課題とチャンスの明確化、 環境経営方針の策定、実施体制の構築、 全体の評価と見直し
◇環境管理責任者：システムの構築・運用、 構築・運用状況の社長への報告
◇各部門：各部門に関連する活動計画の実行等 システムの運用

(10) 対象範囲（認証・登録範囲）

一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬

2. 環境経営方針

環境経営方針

【基本方針】

当社は、廃棄物の収集運搬事業を通して循環型社会の形成に貢献するとともに、事業活動に伴う環境影響をできるだけ少なくするために、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

【スローガン】

この街をきれいにしたい！！

【行動指針】

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを守ります。
2. 環境経営目標を定めその達成に向けて活動するとともに、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取組として、次のことを推進します。
 - (1) 電力・自動車燃料使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 地域の衛生保持と環境保全
 - (3) 収集運搬時の交通安全

平成 28 年 2 月 25 日制定

令和 3 年 3 月 12 日改定

株式会社 ニコニコ

代表取締役 二五田 孝彦

3. 環境経営目標とその実績

(1) 環境経営目標

環境経営方針や環境への負荷の自己チェックの結果を踏まえて「環境経営目標」を以下のとおり決めました。当社の最大の環境負荷は廃棄物収集運搬車両の燃料消費に伴う二酸化炭素の排出であることから、「廃棄物収集運搬車両の燃費向上」は、最重要課題として取り組むこととしています。

また、収集運搬時の交通安全についても重要課題として取り組むこととしています。

項目	単位	2024年度	2025年度	2026年度
電力の削減（本社、車庫） [基準：8,624kWh]	kWh	△1%以下 8,538	△1.5%以下 8,495	△2%以下 8,452
廃棄物収集運搬車両の燃費向上 （車庫）[基準：6.45 km/ℓ]	km/ℓ	1%増以上 6.51	1.5%増以上 6.55	2%増以上 6.58
事業所周辺の清掃活動 （車庫）	—	1回/月	1回/月	1回/月
環境に配慮した収集運搬 作業の実施（車庫）	—	収集運搬に関する苦情0	収集運搬に関する苦情0	収集運搬に関する苦情0
収集運搬時の交通安全 （車庫）	—	交通事故0	交通事故0	交通事故0
節水[基準：20 m ³] （本社：上水、車庫：地下水）	m ³	基準値以下 20	基準値以下 20	基準値以下 20
廃棄物の削減（本社、車庫）	—	廃棄物の削減	廃棄物の削減	廃棄物の削減
（備考） 1. 電力の削減及び廃棄物収集運搬車両の燃費向上の基準値は、2022年度の実績値です。 2. 節水の基準値は、2017年度の実績値です。 3. 節水の目標値は、本社の上水使用量を対象としています。車庫は地下水を使用しており、使用量が把握できないため数値目標は設定していませんが、節水に努めています。 4. 廃棄物については、排出量が非常に少量であるため数値目標は設定していませんが、紙類等の一般廃棄物の発生抑制や分別を徹底するなど、削減に努めています。 5. 化学物質は使用していません。				

(2) 2024年度の環境経営目標達成状況(2024年2月～2025年1月)

項目	単位	目標値	実績	評価
電力の削減	kWh	8,538	9,269	×
廃棄物収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	6.51	6.39	×
事業所周辺の清掃活動	—	1回/月	1回/月	○
環境に配慮した収集運搬作業の実施	—	収集運搬に関する苦情0	収集運搬に関する苦情3	×
収集運搬時の交通安全	—	交通事故0	交通事故1	×
節水	m ³	20	18	○
廃棄物の削減	—	廃棄物の削減	廃棄物の削減	○

(3) 二酸化炭素排出量の実績

過去5年間の二酸化炭素排出量は下表のとおりとなっています。

年間排出量は業務の量や内容によって増減がみられますが、2024年度の年間排出量の合計は減少となり、原単位(売上当たりの排出量)は増加となっています。

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
年間排出量 [kg-CO ₂]	電力	4,070	4,442	4,700	4,716	5,052
	化石燃料	135,751	136,847	123,237	126,736	124,323
	合計A	139,821	141,289	127,937	131,452	129,375
売上高B [百万円]		166	168	174	174	152
A/B [kg-CO ₂ /百万円]		842	841	735	755	851

(注) 電力の二酸化炭素排出係数は中国電力の令和3年度(2021年度)の調整後排出係数0.545kg-CO₂/kWhを使用しました。

4. 主要な環境活動計画の内容及び取組結果とその評価

(1) 電力の削減

空調の適正温度管理や不要照明をこまめに消すなど本社事務所・車庫での電気使用量の削減に取り組みましたが、猛暑による車庫のエアコン使用の増加もあり目標を達成することができませんでした。1台のエアコンが古く効きにくいこともあって、買い替えることにしました。当面はエアコン・フィルターの掃除の頻度を増やして対応します。車庫の蛍光灯もLEDに交換します。

(2) 廃棄物収集運搬車両の燃費向上

アイドリングストップの励行や急発進・急加速をしないなどのエコドライブの実践及び車両整備の徹底に努めましたが、目標を達成することができませんでした。猛暑による車両のエアコン使用が増えたこともあります。今後もドライブレコーダーの結果を分析し、エコドライブの充実を図っていきます。燃費が良くない収集運搬車両は適宜新しいものに更新します。また、燃費計算の際に、整備工場への移動距離を含めていない点も分かり、今後は走行距離を正確に把握するように改善しました。

(3) 事業所周辺の清掃活動

年間12回と、目標（1回/月）のとおり清掃活動を実施しました。



(4) 環境に配慮した収集運搬作業の実施

「収集運搬マニュアル」に基づき廃棄物収集運搬時の騒音抑制や収集運搬作業前後の周辺確認・清掃を徹底してきました。4月の新規・変更・廃止時に、取り残しの苦情が3件発生しました。個別の急なルート変更や応援車両、休暇対応時などで取り残しが発生しており、従業員への教育を徹底しました。

(5) 収集運搬時の交通安全

継続的な交通安全教育と車両整備の徹底に取り組みましたが、横道から出てきた車両が、当社の車両の助手席側側面に衝突しました。優先道路といえども、前方注意を怠らず、とっさの時にも衝突回避の運転操作ができるようにしたいと思います。安全教育を実施し、全員に徹底しました。今後もドライブレコーダーの結果を分析し、安全運転の徹底を図っていきます。

(6) 節水

上水は本社事務所のみの使用です。業務全般にわたる節水を心がけ、目標を達成することができました。なお、車庫では地下水を使用しており使用量が把握できないため数値目標は設定していませんが、収集運搬車両の洗車用水等について節水に取り組みました。

(7) 廃棄物の削減

数値目標は設定していませんが、紙類など一般廃棄物の発生抑制と分別の徹底に取り組みました。

5. 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制は、廃棄物処理法及びフロン排出抑制法です。環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は、「電力の削減」「廃棄物収集運搬車の燃費向上」「環境に配慮した収集運搬作業の実施」「収集運搬時の交通安全」については、目標は達成できませんでした。引き続き削減に向けた取り組みを徹底していきます。古い空調機の更新、車庫のLED化、車両の更新も進めていきます。

「環境に配慮した収集運搬作業の実施」については、取り残しによる苦情が発生しました。取り残し防止対策のマニュアルを作成し、取り残し防止の徹底に努めていきます。「収集運搬時の交通安全」については、引き続きヒヤリ・ハットの活用、ドライブレコーダーの分析、外部講習の受講など、事故防止の徹底を図っていきます。また、社員の健康増進についても充実を図っていきます。

7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標項目	2025 年度	
	環境経営目標	環境経営計画
電力の削減	2022 年度実績 (8,624 kWh) の 1.5%減 8,495 kWh	◇空調の温度管理 ◇空調フィルターの掃除徹底 ◇不要照明の消灯
廃棄物収集運搬車両 の燃費向上	2022 年度実績 (6.45km/ℓ) の 1.5%増 6.55km/ℓ	◇エコドライブの実践 ◇車両整備の徹底 ◇ドライブレコーダーの分析
事業所周辺の清掃活動	1 回/月	◇事業所周辺の清掃実施
環境に配慮した 収集運搬作業の実施	収集運搬に関する苦情 0	◇収集運搬時の騒音抑制 ◇周辺確認・清掃 ◇取り残し防止対策の徹底
収集運搬時の交通安全	交通事故 0	◇安全運転の徹底 ◇車両整備の徹底 ◇ヒヤリ・ハットの活用 ◇ドライブレコーダーの分析
節水	2017 年度実績 (20 m ³) 以下	◇業務全般にわたる節水 ◇洗車用水(地下水)の削減
廃棄物の削減	廃棄物の削減	◇廃棄物の発生抑制 ◇分別の徹底
<p>(備考)</p> <p>1. 節水の目標値は、本社の上水使用量を対象としています。車庫は地下水を使用しており、使用量が把握できないため数値目標は設定していませんが、節水に努めています。</p> <p>2. 廃棄物については、排出量が非常に少量であるため数値目標は設定していませんが、紙類等の一般廃棄物の発生抑制や分別を徹底するなど、削減に努めています。</p> <p>3. 化学物質は使用していません。</p>		

9. 廃棄物収集運搬業に関する情報

(1) 一般廃棄物

①許可の内容

許可番号	許可年月日	有効年月日	廃棄物の種類
広島市指令業一特第9号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	固形状一般廃棄物 (積替え・保管を含む)

②積替え・保管施設

積替え・保管を行う一般廃棄物の種類			面積 (m ²)	保管上限 (m ³)
事業ごみ 指定袋	可燃ごみ 指定袋搬入	悪臭の生じるもの	1.05	0.63
		その他のもの	3.06	2.75
	不燃ごみ プラスチックごみ	指定袋搬入	1.50	1.50
		指定袋搬入	3.51	5.27
一時多量ごみ・共同 住宅等排出ごみ (事業ごみ指定袋 以外で市の施設等 に搬入するもの)	可燃ごみ 指定袋外搬入	悪臭の生じるもの	1.05	0.63
		その他のもの	3.00	3.00
	不燃ごみ プラスチックごみ	指定袋外搬入	1.50	1.50
		指定袋外搬入	3.51	5.27
	大型ごみ		6.82	12.28
	資源ごみ		積替えのみ (保管はしない)	
	発泡スチロール		1.50	1.50

(2) 産業廃棄物

①許可の内容

◇産業廃棄物 収集・運搬

許可番号	許可年月日	有効期限	廃棄物の種類														
			紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	
広島県 第03409010932号	R4.05.20	R9.05.19	○	○	○		○	○			○		○	○			○
広島市 第07310010932号	R6.06.09	R11.06.08	●	●	●	○	●	●		●	○	●	●	○	○		●

(注) ○は、「積替え・保管」を含まない。 ●は、「積替え・保管」を含む。

◇特別管理産業廃棄物 収集・運搬

許 可 番 号	許可年月日	有効期限	廃棄物の種類
広島市第 07350010932 号	R5. 10. 11	R10. 10. 10	廃酸、感染性廃棄物

②積替え・保管施設

積替え・保管を行う産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の種類	面 積 (m ²)	保管上限 (m ³)
廃プラスチック類	6. 25	9. 37
紙くず	6. 25	9. 37
木くず	6. 25	9. 37
繊維くず	3. 4375	5. 15
金属くず	6. 25	9. 37
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	6. 25	9. 37
廃石膏ボード	3. 25	4. 87
がれき類	6. 25	9. 37
ガラスくず (廃ブラウン管)	1. 50	1. 50
廃プラスチック類、金属くず (廃 OA 機器)	1. 50	1. 50
ガラスくず、金属くず (蛍光灯)	0. 52	0. 40
汚泥、金属くず (乾電池)	0. 26	0. 20
廃油、金属くず (オイルエレメント)	0. 26	0. 20
合 計	48. 2275	70. 04

(3) 施設等の状況

車両：脱着装置式コンテナ専用車 4 t : 1台、2 t : 1台
 塵芥車 2 t : 11台、ダンプ車 2 t : 5台、
 軽トラック車 1台、軽ダンプ車 1台、
 ステーションワゴン 2台、軽乗用車 1台

合計 23台

(4) 受託した廃棄物の処理量

2024 年度 (2024 年 2 月 ~ 2025 年 1 月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
一般廃棄物収集運搬	可燃ごみ		4, 313.04
	リサイクルプラ		751.91
	不燃ごみ		0.87
	プラスチックごみ		9.47
	大型ごみ		42.24
一般廃棄物収集運搬量小計			5, 117.53
産業廃棄物収集運搬	OA 機器 (金属くず・ガラスくず・廃プラスチック)		0.05
特別管理産業廃棄物 収集運搬			0
産業廃棄物収集運搬小計			0
合 計			5, 117.58

資源物取扱量

(単位 kg)

資源物取扱量	紙類		38, 370
	ビン		2, 600
	缶		1, 274
	金属くず		10, 360
	発泡スチロール		30
	ペットボトル		1, 440
合 計			54, 074